

# 松山市中心市街地活性化基本計画について

穴吹不動産流通株式会社 松山店

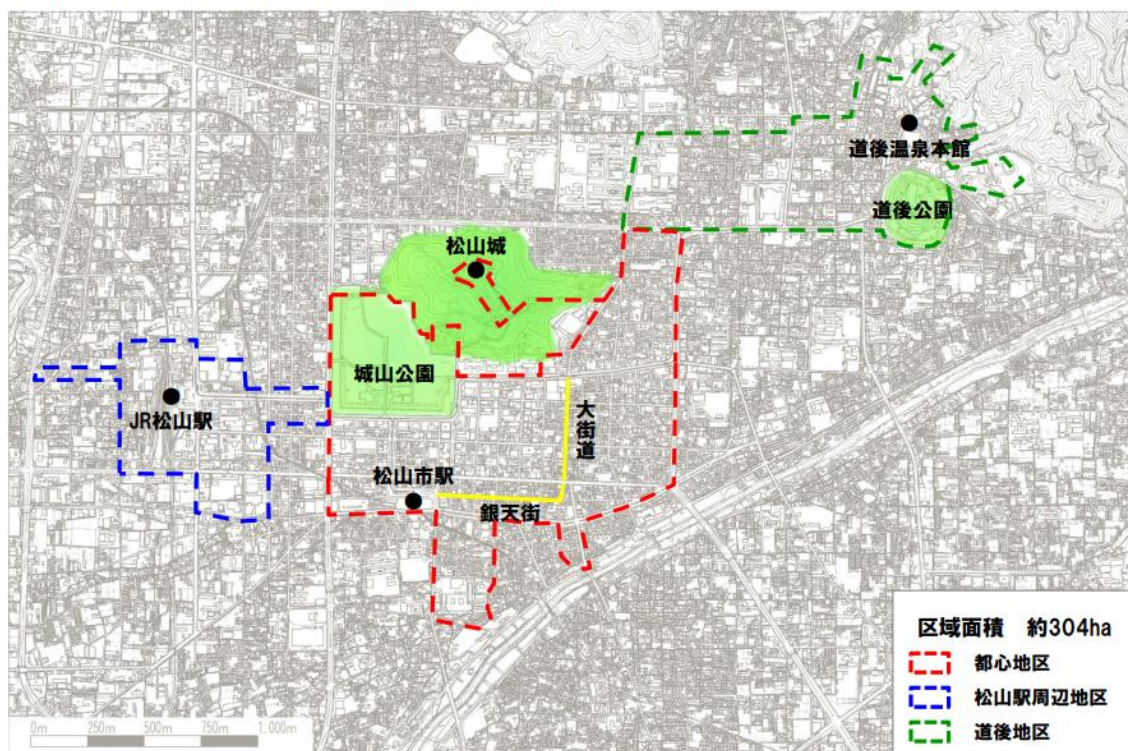
松山市の中心市街地は松山城を中心に栄えた城下町で、中心部には県庁・松山市庁をはじめとする官公署や会社・銀行が立地し、本市の商業核となるアーケード商店街（大街道・銀天街）には多様な商店が立ち並びます。また、日本最古の温泉と言われる道後温泉をはじめ、現存 12 天守の一つである松山城など、多くの史跡や地域資源があり、国内外から多くの来訪者を集めています。

松山市では、平成 20 年、平成 26 年に中心市街地活性化基本計画（第 1 期、第 2 期計画）を策定し、官民一体で中心市街地の活性化に取り組んできました。

第 1 期計画では、城下町ならではの賑わい創出や『『坂の上の雲』のまちづくり』を活かした交流人口の増加などに取り組みました。第 2 期計画では、賑わいの創出や交流人口の増加に加えて新たに生活環境に着目し、都市機能の充実や商業機能の強化、観光振興などに取り組みました。

これらの取組みにより、歩行者通行量や観光施設の入込客数が増加するなど、一定の成果が得られました。一方で、取組みの効果が事業実施箇所の周辺地域に留まり、エリアによって賑わい具合に差があるなどの新たな課題や、居住人口の減少などの成果の伸び悩みも見られます。

## 松山市中心市街地活性化基本計画 計画区域



## ●基本計画（第3期計画）について

### ・中心市街地の活性化に関する基本的方針と目標

現代社会はグローバル化、少子高齢化、情報化など、社会の仕組みの変化によって、価値観・ライフスタイルの多様化やEC市場の拡大が進み、市民生活は目まぐるしく変化しています。

中心市街地を取り巻く環境も同様で、中心市街地は今まで以上に質の高いまちづくりを目指すことが求められています。

第3期計画では、これまでの成果や社会情勢などを踏まえ、中心市街地活性化の全体テーマ及び基本方針を次のとおり設定し、引き続き中心市街地の活性化を推進します。

なお、新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」等にも対応しながら、活性化に取り組めます。

松山市においては、人口減少及び少子高齢化により人口減少が加速しております。行政の取り組みも社会情勢に合わせて日々刻々と変化しております。

弊社では、ダイナミックな社会情勢の潮流の中で、お客様の問題解決を行い、ご安心いただける仲介取引を目指しております。

不動産のご購入、ご売却についてご相談がございましたら、お申し出いただきますようお願い申し上げます。

出典：松山市中心市街地活性化基本計画 概要版